

趣意書

「星槎」の名の由来から思えば、仲間と一緒にの舟に乗って、共生さらには平和の星を目指すということは、世界中の人々を対象とし、人々の希望を表しています。中でも未来を担う子どもたちを支えることは、その国だけでなく、世界の未来を支えることになります。

「すべては子どもたちのために」

その想いを世界に届けるために、50年以上にわたり、教育・医療・福祉・環境・気象・宇宙そして文化・スポーツなど、さまざまな分野を通じた学びの環境作りと人材育成に力を注いできました。学校法人星槎では内閣府の教育特区制度（現 文部科学省「不登校特例制度」）を活用した、不登校や発達にアンバランスさを抱える児童生徒に柔軟に対応することのできる学校運営の充実を更に進めていく強い気持ちを持ち続けていきます。

[設置校]

1984年 星槎学園(旧宮澤学園) 開校 横浜市

2005年 星槎中学校 開校 横浜市

2006年 星槎高等学校(全日制課程)開校 横浜市

2012年 星槎名古屋中学校 開校 名古屋市

2022年 星槎高等学校(通信制課程)併置 横浜市

新型コロナウイルス感染症拡大も相成り、ICT機器を活用した学びでは全国の星槎の校舎が日常的にオンラインでつながり、学び合える環境を作り、教育DXを推進してまいりました。もっとも大切な対面での学びを中心におきながらも、ICT機器を活用した個別最適な学び、協働的な学びは、さらなる充実が求められています。生徒の学びに加えて、学校教育環境も年数を重ねるごとに整備していく必要があると考えております。このことから、以下の内容について拡充を予定しております。

[教育DX推進内容]

- ・デジタル教材を活用した教育環境の拡充、及び開発・育成。
- ・ステラプラン(個別指導計画作成運用システム)の拡充。

[教育環境整備への充当]

安全面を考慮し、校舎の老朽化に伴う施設、設備の改修、さらには、自然災害への備え等、計画的に改修も進めています。

[周年行事他、各学校の運営経費等に充当]

各校舎の周年行事の準備資金、特待生制度の拡充に向け準備していきます。

こうした学びについては、「する・見る・支える」それぞれの立場から共感し、理解し合い、関わり合う力が深まることを目的として活動しています。

人と人、人と自然が共生する社会の創造。そしてそれを担う子どもたちが必要とすることや興味関心に応じて、さまざまに広がる星槎の取り組みや学びの環境のさらなる充実のために、何卒、多くの皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当法人といたしましても、支出削減等の経営努力もしていく所存でございますので、あわせてご理解いただきますようお願い申し上げます。

学校法人 星槎
理事長 金子 肇